

# 上毛新聞掲載記事 (2015年掲載)

## 絆強まり「ありがとう」

最終日 感謝の手紙を親に

【茨城県・北沢彩記】下野新聞社主催、日立「親子ふれあいクルーズ in 北海道」が、21日午後、茨城県大洗町の茨城県大洗港に到着した。船内レクリエーションでは、子どもが5日間の思い出と保護者への感謝の気持ちを手紙にして読



母の美嘉子さんへ感謝の手紙を読む怜さん

楽しい思い出が、できない日もあやうい、涙が止まらなかつた。出発日は「同じ学校の子がいればいいの」と携帯ゲーム機に目を落としていた。船内では「晩を共にした船なな友」と打ち解け、何をやるにも一緒の仲間を優しく拭いた。参加者は、たくさんの土産を持ち、旅を終えた。

## 北の大地へ

親子ふれあいクルーズ in 北海道

## 海で友達できた

苦小牧 船内ツアーや札幌観光



操舵室で広がる海を見る山本優太君と真里さん

【北海道・北沢彩記】後、北海道苫小牧市の「親子ふれあいクルーズ in 北海道」19時間もの長い航海の毛新聞社・茨城新聞社、疲れも見せず、道内観光ツアーが開始された。航海中船内では、操舵室で広がる海を見る山本優太君と真里さん(6)の姿を見つめ、駆け寄った。布団が隣同士になった。意気投合した。それぞれ母親と離れ、手をつないで自室へ走った。

【北海道・北沢彩記】後、北海道苫小牧市の「親子ふれあいクルーズ in 北海道」19時間もの長い航海の毛新聞社・茨城新聞社、疲れも見せず、道内観光ツアーが開始された。航海中船内では、操舵室で広がる海を見る山本優太君と真里さん(6)の姿を見つめ、駆け寄った。布団が隣同士になった。意気投合した。それぞれ母親と離れ、手をつないで自室へ走った。

ツアーが終わり部屋へ戻る途中、優太君は出港直後に仲良くなった、茨城県行方市の麻生小1年、真輪陸君(6)の姿を見つめ、駆け寄った。布団が隣同士になった。意気投合した。それぞれ母親と離れ、手をつないで自室へ走った。

真里さんは優太君に「一人っ子なので、皆と協力することを学んでほしい」と願う。大人数での長旅は初めてというが、優太君は持ち前の明るさで仲間と

1の説明を受けた。大変しい思い出を増やした一行「少年よ、大志を抱け」で有名なクラーク博士像の立つ札幌市の羊ヶ丘展望台を観光した。

## 北の大地へ

親子ふれあいクルーズ in 北海道

## 「楽しい思い出つくる」

第2班 3県の84組168人出航

【茨城県・北沢彩記】「フェリー」による航海の20組をはじめ、北海道の自然あふれる体験を通して親子の絆を強める「親子ふれあいクルーズ in 北海道」一行は19時間の航海



出航セレモニーであいさつする室井君

美瑛町の広大な花畑、い出をつくります」と旭川市の旭山動物園など北海道観光を満喫する。出航セレモニーでは、本県を代表して鶴林小4年の室井龍輝君(9)が「北海道旅行は初めてなので楽しい思い出をつくりたい」と話した。

で北海道苫小牧市の西小牧港へ向かい、クラーク博士像の立つ札幌市の羊ヶ丘展望台や、茨城県大洗町の茨城県大洗港区を出発した。本

本県を代表して鶴林小4年の室井龍輝君(9)が「北海道旅行は初めてなので楽しい思い出をつくりたい」と話した。

商船三井フェリーが運航する「さんくらわあだいせつ」で31日に起こった火災について、同社大洗支店の藤山圭一支店長(50)が事故の概要と安全への取り組みを丁寧に説明すると、一行は安心した様子で、目を輝かせて「さんくらわあ、さんくら」に乗船した。

# 娘の絵 確かな成長

## 美瑛町で花畑スケッチ



北の大地へ  
親子ふれあいグループ  
in北海道

花畑でスケッチする一場さん親子  
北海道・美瑛町



【北海道】北沢彩記  
「親子ふれあいク  
ルーズin北海道」上  
毛新聞社、茨城新聞社、  
下野新聞社主催、日立  
だ。「四季彩の丘」の

ポトサービス旅行企  
画・実施)の第2班、  
84組168人は3日、  
札幌市の工場見学や広  
大な美瑛町の花畑を撮  
影した。  
旭川市の一場久幸さ  
ん(47)と娘の紅緒さん  
(7)は、  
「うまく描けている  
よ。紅緒さんの力作  
と声を上げた。「家は  
にぎやかだから、たま  
にはゆつくりスケッチ  
もいいね」と久幸さん  
紅緒さんも「植物に囲  
まれて楽しい」と父の

前から花や昆虫を描き  
始めた。昔から絵が好  
きだった久幸さんは  
「小学6年だから最後  
のチャンス」と4人き  
ようだいの3番目の紅  
緒さんを誘った。  
これまで往路のフェリ  
ーやクラーク博士像な  
ど5カ所ほどで同じ風  
景をそれぞれの感性で  
描いた。  
花畑で作品を見せ合  
うと、同時に「うまい  
」と声を上げた。「家は  
にぎやかだから、たま  
にはゆつくりスケッチ  
もいいね」と久幸さん  
紅緒さんも「植物に囲  
まれて楽しい」と父の

顔を上げ、貴重な親  
子の時間を過ごした。  
い、昼食はジンギスカ  
工場見学は夢工場  
ン鍋などを楽しんだ。

# 思いやり、勇気育つ

## 旭川、苫小牧 動物と触れ合い



北の大地へ  
親子ふれあいグループ  
in北海道



義典さんに抱かれてオオカミを撮る恵史朗君

【北海道】北沢彩記  
「親子ふれあいク  
ルーズin北海道」上  
毛新聞社、茨城新聞社、  
下野新聞社主催、日立  
ケ島小1年の真下恵史  
朗君は、行動展示で有  
名な、草木の覆い茂る  
旭川動物園のおりの中  
からいち早く動物を見  
つけ、父の義典さん  
ザンホースパークで  
大自然の爽やかな空気  
や動物との触れ合いを  
楽しんだ。  
「見て、奥にミミズ  
クがいるよ」。高崎京  
いた。

義典さんは、動物を  
追い掛ける息子の姿に  
北の大地で育まれた思  
いやりや勇気を感じて  
目を細めた。  
一行は同日夕、苫小

下野新聞社主催、日立  
ケ島小1年の真下恵史  
朗君は、行動展示で有  
名な、草木の覆い茂る  
旭川動物園のおりの中  
からいち早く動物を見  
つけ、父の義典さん  
ザンホースパークで  
大自然の爽やかな空気  
や動物との触れ合いを  
楽しんだ。  
「見て、奥にミミズ  
クがいるよ」。高崎京  
いた。

恵史朗君は、長距離  
移動の多いバスの中で  
んからわあ、ふらの」  
具合の悪い参加者が出  
に乗船。思い出いっば  
たとき「横になれるか  
ら」と最後列の自席を  
譲った。窮屈な席に移  
ったが、一言も文句を  
言わなかった。動物園  
は、行きのフェリー内  
で仲良くなった茨城、  
栃木両県の友人と3組  
で一緒に遊んだ。  
義典さんは「初対面  
の子に自分からあいさ  
つしたのは驚いた」  
と目を細めた。  
一行は同日夕、苫小